

色彩の基本.3

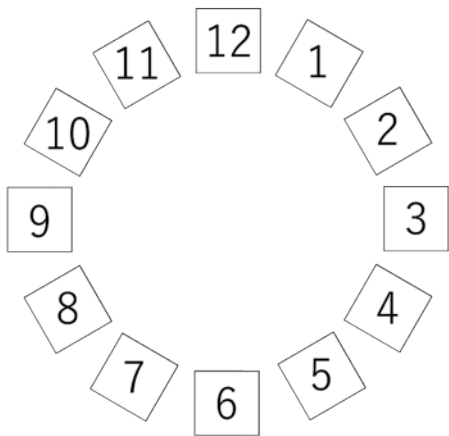
名前

解答

解答

問1 次の①～⑨に当てはまる言葉を下から選んで答えよ。

- 色を大きく2つに分けると、①と②に分けられる。①は白、灰色、黒のよう
な色みのないもののことをいい、②は色みのあるもののことをいう。
 - ① (無彩色)
 - ② (有彩色)
- ①には彩度、色相はないが③はある。
 - ③ (明度)
- ②には彩度、色相、③がある。
 - ④ (彩度)
- 色の鮮やかさの度合を④といい、色みの違いを⑤といい、色の明るさの
度合を③という。
 - ⑤ (色相)
 - ⑥ (三属性(三要素))
- ③④⑤の3つを『色の⑥』といい、それらを立体に表したものを⑦という。
 - ⑦ (色立体)
- 下図のように、②について、色みの似ている順番に環状に並べたものを
⑧という。また⑧の中で反対側に位置する色同士を⑨という。
 - ⑧ (色相環)
 - ⑨ (補色)



明度	補色	無彩色	三属性(三要素)	色相	彩度
色相環	有彩色	色立体	加法混色	減法混色	

問2 次の①～⑦に当てはまる言葉を下から選んで答えよ。

- 色と色を混ぜてつくることのできない3つの色を①という。
 - ① (三原色)
- ①には『②の①』と『③の①』がある。『②の①』はレッド(黄みの赤)、グリー
ン(緑)、ブルー(紫みの青)の3つの色のことをいい、『③の①』はマゼンタ
(赤紫)、イエロー(黄)、シアン(緑みの青)の3つの色のことをいう。
 - ② (色光)
 - ③ (色料)
- 『②の①』は色を重ねることで④なり、『③の①』は色を重ねることで⑤なる。
 - ④ (明るく)
 - ⑤ (暗く)
- ①を重ねれば重ねるほど明るさが増すことを⑥といい、①を重ねれば重
ねるほど暗くなることを⑦という。
 - ⑥ (加法混色)
 - ⑦ (減法混色)

加法混色	減法混色	色料	色光	三原色	明るく	暗く
------	------	----	----	-----	-----	----

